



<令和4年度 新年度を迎えて>

運営委員会会長 角本 等

新年度もコロナ禍であるため、来園者の方々には、ご不便をお掛けしますが、安全に楽しく快適に過ごせるよう公園の運営を心掛けます。本年度の主な活動は

- ・里山の自然環境の維持、生物多様性の保全。

「天王森泉公園保全管理計画」に添って、公園内を区分けし、区分けごとに目標と方針を記載し、植物・鳥類・昆虫類・哺乳類を記載しています。その記載している生物の確認を行う為、「生き物調査観察会」(月1回)を継続します。また、森の「高木の雑木林」から「低木の明るい雑木林」に再生するため再生作業を行います。

- ・ボランティア活動の推進。

当公園は、地域のボランティアが協力して維持管理・運営を行っていますが、そのためには多くの様々な「力」が必要です。自分に合った楽しいボランティア作業を一緒にお探しします。ホームページからも発信しています。

- ・地域の特性や施設を活かした行事の開催。

主な年間行事として「竹の子まつり」「田植え体験」「ほたる鑑賞会」「春・冬の野鳥観察会」「稲刈り体験」「天王森まつり」「天王森餅つき」「そば打ち体験」など。里山の生活を体験できる行事に参加頂ければ幸いです。

なお、本年11月で、「開園25周年」を迎えます。11月に行われる開園記念「天王森まつり」でお祝いを行いたいと思います。本年度は、コロナが終息し、安心して来園して頂ける事を願っています。

文化体験

館事業・行事案内：4月～6月

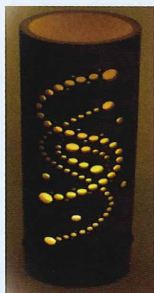
- ・4月10日(日)・・・竹の子祭り★竹の子堀体験
- ・5月15日(日)・・・大人の竹細工★竹灯り作り
- ・5月28日(土)・・・田植え体験
- ・6月上旬・・・ホタル観賞会
- ・6月19日(日)・・・手前そば打ち★手打ちそば体験



竹の子堀り体験



竹の子



竹灯り



ホタル観賞会



そば打ち

自然体験

- ・4月 3日(日)・・・春の花を楽しむ会
- ・4月 5日(火)・・・生き物調査観察会
- ・5月 3日(火)・・・生き物調査観察会
- ・5月15日(日)・・・春の野鳥観察会
- ・6月 7日(火)・・・生き物調査観察会

【コロナ禍の影響により、諸事業の実施可否判断が難しい状況にあります。公園掲示・HP・電話 等でご確認下さい。】

文化体験

館事業・行事報告：1月～3月

- ・1月23日(日)・・・シイタケ菌駒打ち体験
☆榎木の販売のみ実施
- ・2月 3日(木)・・・節分祭・健康祈願お豆プレゼント
- ・2月19日(土)・・・ミニ吊るし雛飾り
～3月6日(日)



節分祭



ミニ吊るし雛

【ご来園有難う御座いました。館内・園庭散策など体感され、一時の休養にお役立て出来たら幸いです。】

自然体験

- ・1月 4日(火)・・・生き物調査観察会
- ・2月 1日(火)・・・生き物調査観察会
- ・2月13日(日)・・・冬の野鳥観察会
- ・3月 1日(火)・・・生き物調査観察会



館裏大池に来たコサギ



くわくわ森に咲くキンラン



生き物調査観察会

くわくわ森の再生作業

今年に入り、大きく伸びすぎた樹木の樹高を低くする作業が続いています。

これからのくわくわ森は、大きな木の森ではなく若い木の森を目指します。カシナガ被害で伐採されたクヌギ・コナラの代わりに、森のどんぐりから若い木を育て、大きく伸びすぎない管理をしていくことで、林床の野草や生き物を守り、新しい森へと再生を図っていきます。今までと環境が違ったため、残念ながら一時的に生物の数が減ることと思います。それをそのままにせず、できるだけ環境を整えることが私たちの仕事だと思っています。

保安全管理推進グループ 山本 T



天王森の自然案内

天王森周辺で越冬したツグミ、ジョウビタキ、タヒバリなどの

冬鳥は繁殖地に戻り、入れ替わって繁殖のためツバメ、イワツバメ、コチドリなど夏鳥がやってきます。1年中見られるシジュウカラ、ヤマガラなどの留鳥も雛の食べ物となる幼虫が食べる植物の成長に合わせて湧水の森、見晴らしの丘、くわくわ森などに設置した巣箱を利用して子育てしています。

エナガは太い枝の又に作った巣で繁殖します。尾羽が曲がったエナガが観られたらどこかで繁殖している証拠です。チョウの仲間では成虫で越冬するウラギンシジミ、ムラサキシジミ、ムラサキツバメなどにツマキチョウ、ツバメシジミ、トラフシジミ、ミズイロオナガシジミなどが加わります。これらは小さくて数も少ないので、にぎやかとは言えませんが見つけたときの喜びはひとしおです。

By 倉川



事務局長より

～新年度を迎えるにあたって～

昨年『人新生の資本論』という本が流行しました。人新生は地表の年代を表す言葉です。人間の活動が地表を覆った現代（人新生）は地球環境が大きく変化、このままでは気候変動は止まらないと述べています。解決の方向は脱成長社会への転換。大切なのは社会の人々が参加して共有・管理をすること、それを市民営化と言うそうです。ここ数年のコロナ禍、経済や社会への影響がありました。しかし公園はコロナ禍の影響を受けにくい数少ない場として、日常の利用者が増えています。令和4年度、私共は横浜市から4回目の公園の管理委託を受けることが出来ました。委託を担う運営委員会は市民主体で構成されています。コロナに向き合い、これまで以上の市民の憩いの場として、また微力ながらも地域環境の改善に向け、多くのボランティアや来園の皆様と共に、より良い公園に仕立てたいと願っております。

野の花苑だより

木々が新緑になると、野草もほとんどが芽

を出し、早春に芽を出した種類から花が咲き始めます。ニリンソウ、イカリソウ、チョウジソウ、ユキザサ、オドリコソウ、エビネ、タツナミソウ、ウツボグサ、キキョウ、ホタルブクロなど・・・一年草のクサノオウは種が飛んで毎年いろいろな場所で咲いています。せせらぎコーナーにはシャガも咲きます。ホタルカズラも前年より花数が多く見られそうです。毎年、同じ様に咲かない草花もありますので、出会える花を楽しみに、お出かけ下さい。

By 井上

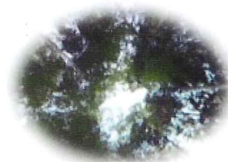


竹林の小径

- ・孟宗竹の緑のトンネルがお出迎えします。春は竹の秋、秋は竹の春 と謳われる「季語」でもあります。
- ・園庭の小径をぐるりと散策。行く先には湧水のせせらぎ～ウッドデッキ～ワサビ田 観賞し～癒しの竹林へ あれ！！きのこ・シイタケ 見上げれば竹林の天空・風が心地良い響きと風情を感じさせてくれます。
- ・4月早々、竹の子が頭を出しています。そこにも、あそこにも！ その向こうにも！ 初春を体感！！



竹林の天空



わさび花

ボランティア活動状況

1月10日（月）ボランティアにより構成された草刈り隊が今年初の仕事として見晴らしの丘の草刈りを実施。[昆虫のすみか]として、草はらを利用する虫たちのために残っていた場所も草刈りをしました。それでも虫たちが越冬のため隠れ住めるように20cmくらいの丈を残して作業しました。また、ソシンロウバイ近辺も草刈りを行い、さっぱりとしました。その他ボランティアによる剪定作業も実施しています。



天王森泉公園のホームページ

<https://www.tennoumori.net>



当公園 QRコード

天王森泉館利用案内

開館時間：午前9時～午後5時

休館日：毎月第2・4火曜日（祝日は翌日）

年末・年始（12月29日～1月3日）

問合せ先：天王森泉公園事務局 045-804-5133

館内施設の利用：利用日の2ヶ月前より申込受付